

四つのテスト—言行はこれに照らしてから—

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

熊本南ロータリークラブ



週報

RIテーマ
心の中を見つめよう 博愛を拡げるために
 Reach Within to Embrace Humanity

2011-2012 度 国際ロータリー会長
 カルヤン・バネルジー(インド)

例会日: 毎週月曜日12:30~13:30 例会場: 〒860-8536 熊本市上通町2-1ホテル日航熊本内
 創立日: 昭和33年9月1日(承認 昭和33年11月24日) 事務局: 〒860-8536 熊本市上通町2-1ホテル日航熊本内
 TEL: 096-211-2720 FAX: 096-211-2721 E-mail: minamirc@mail.sysken.or.jp

国際ロータリー第2720地区
 会長/堀川貴史 幹事/野口泰則
 クラブ広報委員長/馬場大介

2011-2012RIテーマ



第23回 例会記録(通算第2508回)
 平成24(2012)年1月6日

今日の例会

1. 今日の歌
2. 来訪者紹介
3. 会長・幹事・各委員会報告
4. 会員卓話

会長年頭所感

今月・来月の行事

- 1/16(月)18:30~新年会@新茶家
- 1/23(月)18:30~第3回クラブ協議会@ホテル日航熊本
- 1/25(水)8:30~ゴルフコンペ@城南CC
- 1/25(水)18:30~親睦活動委員会IM@ひろのすけ

2012年 熊本市域RC新春合同例会

期日 2012年1月6日(金)12:30~点鐘

場所 熊本ホテルキャッスル 2Fキャッスルホール

例会(12:30~)

司会 熊本'05福祉RC S. A. A. 鎮西 正弥

1. 開会・点鐘 熊本'05福祉RC会長 村木 忠嗣

2. 国歌 「君が代」

3. ロータリーソング「奉仕の理想」

熊本'05福祉RCソングリーダー 田中 洋子

4. ご来訪者紹介 熊本'05福祉RC会長 村木 忠嗣

★ご来賓

熊本県知事(蒲島郁夫様代理)副知事 兵谷 芳康 様

熊本市長 幸山 政史 様

RI第2720地区 ガバナー 本田 光曠 様

★ご来訪者

RI第2720地区 パストガバナー 寿崎 肇 様

RI第2720地区 パストガバナー 山崎 勝 様

RI第2720地区熊本第三分区ガバナー補佐 吉田末春 様

RI第2720地区熊本第四分区ガバナー補佐 山形信也 様

RI第2720地区地区幹事 永田 壮一 様

(財)熊本県ロータリー奨学会理事長 水谷 茂 様

(財)ロータリー米山記念奨学会 米山奨学生

世話クラブ

(熊本東RC) 李 漣 漪 様

(熊本西南RC) 段 虹 竹 様

(熊本北RC) 王 曉 博 様

5. 参加クラブ紹介 熊本'05福祉RC会長 村木 忠嗣

熊 本	60	門垣 逸夫
熊 本 南	47	堀川 貴史
熊 本 東	22	村上 暢敏
熊 本 江 南	19	松川 勝史
熊 本 西 南	25	杉本 信一
熊 本 北	21	倉田 榮喜
熊 本 東 南	19	(住江 正治)欠
熊 本 西	14	安田 憲世
熊 本 菊 南	12	上村 政博
熊 本 城 東	17	津留 浩輔
熊 本 中 央	25	宮崎 幸敬
熊本グリーン	19	江上 泰弘
熊 本 平 成	17	西島 清隆
熊 本 西 稜	18	上田 吉勝
熊本水前寺公園	20	森 裕子
熊本りんどう	11	馬場太果志
熊本'05福祉	16	村木 忠嗣

6. 会長代表挨拶 熊本'05福祉RC会長 村木 忠嗣



新年、明けましておめでとうございます。2012年、熊本市域ロータリークラブ、新春合同例会のホストクラブ、コ・ホストクラブを代表しまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は公私共ご多忙の中、熊本県知事蒲島郁夫様、熊本市長幸山政史

様、そして多くのロータリークラブ会員の皆様にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

本年は天候にも恵まれ穏やかな三が日でした。皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、3月11日に発生した東日本大震災で多くの方が亡くなられ、多くの方が被災されました。直接熊本への被害はありませんでしたが、その後発生した台風災害など、悲しみの多い一年でした。

ここ熊本では、東日本大震災の翌日、九州新幹線が全線開通し、また、本年4月1日には熊本市が政令指定都市へ移行するなど、100年に1度の慶事を迎えることになります。これも蒲島県知事様や幸山市長様のリーダーシップはもとより、各方面でご活躍されてこられた先人・先輩、また皆様方のご尽力のお陰だと感謝しております。

今年は辰年です。昇り龍のごとく、景気も登り調子になることを信じていものです。

ところで、私たちロータリアンは、超我の奉仕を旗頭に活動しております。「入て学び、出でて奉仕せよ」、この理念と精神を持って、奉仕行動に取り組んでおりますが、本年は、日々の奉仕活動の他、東日本大震災の復旧復興に向けた、強力な支援活動をしていくことを誓いまして、会長代表挨拶とします。

7. ご来賓挨拶



熊本県知事 蒲島 郁夫 様
明けましておめでとうございます。熊本市域ロータリークラブの会員の皆様におかれましては、よき新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、皆様方には日頃から県政の発展につきまして、御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

皆様方が「こころの中を見つめよう、博愛を広げる為に」のテーマのもと、それぞれの地区において、国際奉仕をはじめ、さまざまな社会貢献活動に積極的に取り組まれておられることに對し、深く敬意を表します。

今年も、なお一層会員相互の連携を深められ、県内におけるさまざまなボランティア活動の牽引役として御活躍されますことを、大いに期待しております。

昨年は、3月11日に東日本において大震災が発生し、多くの尊い人命や財産が一瞬にして失われました。この事態により、利便性を求める人々の価値観は大きく転換し、安全で健康な生活を送り続けられる有り難さや、生まれ育った故郷、家族の絆の大切さを改めて実感した1年となりました。

本県においては、県民誰もが「生まれてよかった、住んでよかった、これからもずっと住み続けたい」と思える熊本づくりに

向け、県政運営の基本方針である「くまもとの夢4カ年戦略」を掲げ取り組んでまいりましたが、最後の年として振り返ってみますと、概ね順調に進められたのではないかと考えております。

昨年3月に九州新幹線が全線開通し、今年4月1日には、熊本市が政令指定都市となります。このことは、厳しい社会情勢の中で、熊本がますます魅力的で活力のある県となる大きなチャンスであると考えております。今後は熊本市と連携をとりながら、熊本の魅力を全国に発信していくとともに、県民の幸福量の最大化に向け、尽力して参りたいと存じますので、皆様方の御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。最後になりましたが、熊本市域ロータリークラブの皆様にとりまして、この一年が健やかで素晴らしい年となり、さらに飛躍されますことを心からお祈り申し上げまして、新年の御挨拶といたします。



熊本市長 幸山 政史 様
明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、このたびは、熊本市域ロータリークラブの会員の皆様が一堂に会され、「新春合同例会」が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

ロータリークラブにおかれましては、社会奉仕と国際親善を目的とした世界初の奉仕クラブ団体として、その長い歴史の中で、崇高な奉仕の精神のもとに様々なご活動を展開されているところであり、そのたゆまぬ献身的なお取り組みに對しまして、深く敬意を表する次第でございます。

皆様方もご承知のとおり、昨年は東日本大震災という未曾有の大災害が発生し、今なお数多くの方々がおふるさとを離れ、不自由な生活を余儀なくされておられますことは鎮痛の極みであります。しかしながら、震災からの復興も徐々に進みつつあり、人々が互いの絆を強めながら、大きな苦難を乗り越えようとしている姿に、日本の強さを改めて実感しているところであります。

さて、熊本市は、いよいよ本年4月1日に政令指定都市へと移行いたします。

熊本市が新たなステージへと移る機会に市長として立ち会えますことを大変幸福に感じますと同時に、市民の皆様から寄せられる期待に対して身の引き締まる思いであり、「日本一暮らしやすい政令指定都市」の実現に向けて万全の状態ですスタートを切るべく、県から移譲される事務の引継ぎや区役所の体制整備などの準備を、職員一丸となって進めて参りたいと考えております。

また、昨年3月の九州新幹線全線開業以来、観光やビジネスなどで多くの方々にご来熊いただき、熊本城や清冽な地下水、豊富な農水産物などの熊本の魅力をご堪能いただ

いているところではありますが、今後もこれらに一層磨きをかけるとともに情報発信力を高めることで、国内はもとより東アジアからも「選ばれる都市」となるよう取り組んでまいります。

最後になりましたが、熊本市域ロータリークラブの皆様には市政に対しましてなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

8. 幹事代表報告 熊本‘05福祉RC幹事 前田 浩文

2011～2012 年度 RI 第 2720 地区・地区大会が 3 月 9 日・10 日に開催されます。RI 会長代理に大阪中央ロータリークラブの横山守雄バスターガバナーをお迎えし、又、特別講演者には姜尚中(カンサンジュン)氏を予定しております。

日程

- 3 月 9 日(金)大会前日 於:熊本ホテルキャッスル
会長・幹事・ガバナー補佐会議
地区指導者育成セミナー
RI 会長代理歓迎晩餐会並びに交流会
- 3 月 10 日(土) 於:崇城大学市民ホール
地区大会本会議
RI 会長代理 大阪中央ロータリー横山守雄PG
記念講演者 姜 尚中氏(東京大学大学院教授)

登録 1 月 20 日〆切り

3 月 9 日 RI 会長歓迎晩餐会並びに交流会
会費/会員・家族:10,000 円
3 月 10 日地区大会

登録料/会員:8,000 円 家族:5,000 円
多くのロータリアンの登録を心よりお願い致します。

9. 閉会・点鐘 熊本‘05福祉RC会長 村木 忠嗣

懇親会(13:00～14:00)

「瑞宝太鼓」

ひたむきに、一生懸命生きる「夢」大使



- 1. 開会の辞 新春合同例会実行委員長 西 俊行
- 2. 年頭スピーチ

RI第2720地区ガバナー
本田 光曠



- 3. 乾杯 熊本RC会長 門垣 逸夫
- 4. スマイル報告 熊本‘05福祉RC
クラブ管理運営委員長 竹矢 和繁

目録贈呈

熊本‘05福祉RC会長
村木 忠嗣



熊本県ロータリー奨学会理事
長 水谷 茂

- 5. 万歳三唱 熊本南 RC 会長 堀川 貴史

- 6. ロータリーソング「手に手つないで」

熊本‘05福祉RCソングリーダー 田中 洋子

- 7. 閉会の辞 熊本 RC 会長エレクト 目黒 純一

出席報告(園田修司君)

会員数	出席数	出席率	前々回(12/26) 修正出席率
60名	34名	61.81	87.50%
出席規定適用免除者 9名		欠席記録免除者 0名	
名誉会員 0名(会員数には含まれません)			

【例会予定】

1月23日(月) 会員卓話 現王園敏伸会員

1月30日(月) 未定

2012年1月12日

ロータリー、インドでの1年間ポリオ無発生を祝う

最近までポリオウィルスの温床となっていたインドでは、1年間、ポリオ(脊髄性小児まひ)の新たな感染が一件も報告されておらず、世界ポリオ撲滅活動を展開してきた全世界のロータリー・クラブ会員は、油断を許さぬ状況に慎重さを保ちながらも、この快挙に喜びの声を挙げています。



昨年に実施された全国予防接種日にて子供にワクチンを投与するロータリアンと政府リーダー。
写真提供: インド・ポリオ・プラス委員会

インドでは、2011年1月13日にウエストベンガルで2歳の女児のポリオ発症が確認されて以来、一件も発症が確認されていません。2010年の発症件数は42件、2009年には741件でした。

インドにおける成功の第一の理由となったのは、二価経口ポリオワクチンを普及させたことでした。このワクチンは、現在残っている2種類のポリオウィルスに対して効果を持っています。成功のもう一つの理由は、徹底的なモニタリングです。世界保健機関(WHO)によると、全国予防接種日に(予防接種を受けずに)見逃されてしまう子供の数は、1パーセント未満まで減りました。

ロータリーは、1988年以来、WHO、ユニセフ、米国疾病対策センターと並び、世界ポリオ撲滅推進計画の主導団体となってきました。また、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団も、この推進計画の重要な支援者となっています。

インドでは、今ではお馴染みとなった黄色いベストと帽子をかぶった11万9千人近いロータリアンが、子供たちへのワクチン投与や、無料の診療キャンプ、ポリオ認識向上集会を手伝ってただけでなく、子供たちにバナーや防止、漫画本などを配って予防接種キャンペーンを支援してきました。

「世界中のロータリーの仲間からの後押しを受け、インドのロータリアンは、いく月も、いく年も休むことなく活動し、何百万人という子どもたちに経口ポリオワクチンを投与する全国予防接種を支援してきました」と、国際ロータリーのカルヤン・バネルジー会長(インド、バビ・ロータリー・クラブ)は話します。

「インドで1年間ポリオが無発生であることは、“ポリオのない世界”の実現に向けた大きな一歩であり、問題を乗り越えながらも目標が達成可能であることを物語っています」と、ロー

タリーの国際ポリオ・プラス委員長を務めるロバート S. スコット氏は述べます。「インドのロータリアンは、あらゆるレベルで懸命な撲滅活動に当たってきました。ポリオ撲滅に向けて世界を大きく前進させたこの功績を、彼らは誇りとすべきです」

インドにおけるロータリーのポリオ撲滅活動を指揮するディーパク・カプール氏(ニューデリー)は、撲滅活動におけるインド保健省の全面的な支援が、今回の進展に大きく貢献したと述べます。現在までに、国内でのポリオ撲滅活動のために、インド政府から12億ドル以上の援助が寄せられています。「ポリオをなくすには、政府からの支援を欠かすことができません。インド政府がこの活動を大きく支援していることは、とてもありがたいことです」

「完全撲滅に向け、目標はこの勢いを持続させること」と述べるカプール氏は、今月から3月にかけて実施される一連のポリオ予防接種が「今後のカギを握る」と述べます。

1月13日までのポリオの検査で陽性の人が出なければ、インドにおける野生ポリオウィルスの感染断絶が世界保健機関(WHO)によって宣言され、同国は「ポリオ常在国」のリストから外されます。しかし、残るウィルス常在国であるアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアからのウィルス流入によるポリオ感染の危険が依然続いており、今後も、インドに加え、ウィルス常在国での予防接種活動を継続していく必要があります。隣国パキスタンでは、2011年に189件の発症が報告されており、インドが今後もポリオ無発生を維持していく上で大きな脅威となっています。また、昨年には、中国で10年ぶりにポリオが発生し、その感染源がパキスタンであることが分かっています。

「インド人として、ロータリーが成し遂げた功績を、心から誇りに感じています。しかし、これで仕事が済んだわけではありません。ポリオを世界から根絶するという目標を実現するまでは、ロータリーは、協力組織とともに、インドや他の国々で今後も子どもたちに予防接種を続けていかなければなりません」